



報道機関 各位

記者発表資料  
令和5年2月1日（水）  
問い合わせ先：消防企画課  
課長：筒井  
担当：小林、庭山  
電話：833-7329  
内線：5432

## 令和4年中の火災・救急・救助統計（概数）を発表します

令和4年1月1日から12月31日の間における、さいたま市の火災・救急・救助統計（概数）を下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1 火災発生状況

- (1) 出火件数は306件で、前年より6件増加しています。  
種別ごとの件数は、建物火災192件、車両火災26件、その他の火災88件となっています。
- (2) 火災による死者数は6人で、前年より5人減少し、負傷者は52人で、前年より7人増加しています。  
なお、死者数6人は、さいたま市誕生後最少です。
- (3) 出火原因の第1位は「放火（疑い含む）」53件、次いで「たばこ」43件、「こんろ」30件、「配線器具」28件、「電気機器」21件の順となっています。

#### 2 救急出場状況

- (1) 救急出場件数は、さいたま市誕生後最高の80,365件で、前年より13,925件増加しました。  
事故種別で最も多いのは「急病」で55,008件、次に「一般負傷」の11,662件、「交通事故」の4,168件の順となっています。
- (2) 搬送人員は65,397人で、前年より8,563人増加しました。  
年齢区分別の搬送人員は、高齢者が35,793人、成人が21,144人、少年が2,942人、乳幼児・新生児が5,518人となっています。

### 3 救助出場状況

- (1) 救助出場件数は、さいたま市誕生後最高の985件で、前年より108件増加しています。

事故種別で最も多いのは「建物等による事故」で581件、次いで「火災」151件、「交通事故」85件の順となっています。

- (2) 救助活動件数は645件で、前年より104件増加し、救助人員は413人で前年より49人増加しています。

### 4 問い合わせ先

- (1) 火災発生状況に関すること

予防課 林・柴崎 電話833-7593 内線5621

- (2) 救急出場状況に関すること

救急課 菅野・原田 電話833-7981 内線5551

- (3) 救助出場状況に関すること

警防課 辻・山田 電話833-7991 内線5531

### 5 資料

「令和4（2022）年さいたま市における火災・救急・救助統計（概数）」